

関西国際空港（被災空港）							成田国際空港等（代替空港）						
	空港会社	航空会社	空港上屋	フォワーダー	代替輸送	その他		空港会社	航空会社	空港上屋	フォワーダー	代替輸送	その他
9月4日(火)	・午後より冠水が開始した。連絡橋に船舶が衝突して使用不能となり、一時は約8千人が孤立した。 ・停電が発生した(以後一週間継続し、夜間作業や空調の確保に支障が出た)。						9月4日(火)						・関空において船舶が橋に衝突ぶつかったという情報が入ってきた。 ・関空が停電していたため固定電話が使用できず、携帯で連絡を取った。
9月5日(水)～9月10日(月)	・9/7に第2ターミナル国内線が再開し、2期島離着陸施設(B滑走路、エプロン等)が供用を開始した。 ・9/9に関空の第1国際代理店ビル事務所の電話、通信機能が復活した。 ・9/10に近畿地方整備局は関空の排水作業が同日午後2時に完了したと発表した。	・9/5に、航空会社は関空発着貨物の新規受託を停止した。 ・9/7に国内線、9/8に国際線の一部運航が開始された。 ・(再掲)【トラック輸送】他空港への保税輸送は中止された。[航空会社・フォワーダー]  受託停止 保税輸送停止	・空港上屋は <b>自社ののみ受付け、外国キャリア分は受け付けない</b> とした。  受託制限	・各フォワーダーは、暫くの間、 <b>自社施設活用</b> に、その後、 <b>適同程度の</b> に、 <b>転送</b> しているフォワーダーはりんくうタウン、南港航空貨物ターミナル地区の <b>自社保税蔵置場</b> などの活用を開始した。これらの施設から、成田・中部等への転送が行われた。 ・(再掲)【トラック輸送】他空港への保税輸送は中止された。[航空会社・フォワーダー]  保税輸送停止	・【トラック輸送】 <b>他空港への保税輸送は中止された。</b> ・【代替輸送】9/5から <b>成田・中部等で臨時便、広胴機への変更等が開始された。</b> ・【代替輸送】9/5から <b>成田・中部等の他空港の代替使用が活発化した。</b> 多くの航空会社が特に成田便への振替対応を要する。 ・(再掲)【トラック輸送】他空港への保税輸送は中止された。[航空会社・フォワーダー]  臨時便 機材変更 保税輸送停止	・【連絡橋】9/7に対面通行を開始した。 ・【広報・発信】9/5に、関空の被害は軽微であり、明日からLCCが飛ぶと報道されたため、フォワーダーには顧客からの貨物の運び込みの可否確認の問合せが殺到した。 ・【広報・発信】9/6の北海道胆振東部地震の発生により関空の報道が減少した結果、関空が復旧したとのイメージが強くなり、顧客からフォワーダーへの問合せが増加した。	9月5日(木)～9月7日(金)	・中部空港会社は、上屋会社からの一時的な増床依頼を受け、 <b>通常の1.3～1.5倍のスペースを使用できる状態にするなどの対応</b> を開始した。  用地確保	・(再掲)【代替輸送】9/5から成田・中部等で臨時便、広胴機への変更等が開始された。[航空会社代替側]  臨時便 機材変更	・(再掲)中部空港会社は、上屋会社からの一時的な増床依頼を受け、 <b>通常の1.3～1.5倍のスペースを使用できる状態にするなどの対応</b> を開始した。  用地確保	・成田の取扱いが増えることを見込み、 <b>航空機のスペースの確保</b> を開始した。  スペース(航空機)確保	・この時期の関空からの振替貨物ボリュームは、まだ大きく増加はしていなかった。	
9月11日(火)～9月20日(木)	・9/14にA滑走路、第1旅客ターミナルビル(PTB)が暫定的に再開した。	・9/14から日航が貨物上屋を再開し、温度管理貨物を除く <b>条件付きで輸出入貨物の取り扱い</b> を開始した。  受託再開	・9/14から日航関西エアカーゴ・システム(JLKAS)は、 <b>生鮮貨物や燻蒸が必要な貨物などを除く一般貨物、危険品の取扱い</b> を開始した。  受託再開	・9/13に阪急阪神エクスプレスが、9/14に日本通運が関空内事務所を再開した。			9月10日(月)～9月16日(日)	・成田国際空港会社では、航空各社の要請に応じて整備地区の7棟・計9100平方メートルの <b>暫定貨物上屋の臨時賃貸</b> を始めたが、短期間で埋まった。  臨時賃貸		・9/15～9/17および9/22～9/24の2回の三連休前に貨物量が大きく増加することが懸念されたため、 <b>上屋への搬出入を当日・翌日搭載分のみに限るなどの受託制限を検討する航空会社もあった。</b> ・輸入貨物については、 <b>まず空港上屋の中から貨物が出てこない状況だった。</b> ・(再掲)成田国際空港会社では、航空各社の要請に応じて整備地区の7棟・計9100平方メートルの <b>暫定貨物上屋の臨時賃貸</b> を始めたが、短期間で埋まった。  受託制限 臨時賃貸	・9/10以降に <b>貨物・トラックの渋滞</b> がはじまり、10月第二週まで続いた。 ・一気に貨物が成田国際空港に入ってきた(中部国際空港も同様)。保税した後の輸出待ちの <b>貨物が滞留</b> した(滞留期間の例：通常は滞留した貨物は入った次の日に出ていくが、2日待ちの状況になった。)		
9月21日(金)～9月30日(日)	・9/21にA、B両滑走路、第1旅客ターミナルビル(PTB)および第2PTBのスポットも通常運用となった。 ・ <b>貨物便スポットは1期島、2期島ともに運用は回復した。</b>	・9/21から日航が全便を再開した。	・9/21から日航が、生鮮などを除く保冷貨物の取り扱いは部分再開した。 ・9/21から全日空が上屋業務を再開し、温度管理が必要な貨物を除くなど条件付きで9/22の自社旅客便搭載分から輸出入貨物の取り扱いを開始した。 ・日航関西エアカーゴ・システム(JLKAS)は取扱い貨物の制限を徐々に撤廃し、9/21から一部保冷貨物の取り扱いやトラック便の運航を再開し、9/23に輸入生鮮貨物、9/25には国際SAL郵便(エコミー航空便)の取扱いを再開した。	・DHLジャンパが9/18から関空の貨物便(エアホンコン)と上屋業務を再開し、9/19から通常サービスを提供する体制となった。	・【連絡橋】9/18に連絡橋鉄道部分は再開し、道路部分は9/21午前0時からタクシー、ハイヤー(緑ナンバー)の通行が可能となった。9/21にトラックに関する早期の出発旅客の需要時間帯に流入自粛を求める要請が解除された。		9月17日(月)～9月30日(日)	・成田では、日航が9/17到着便から、全日空が9/22～9/26日到着便について、 <b>輸入貨物の受託を停止しないし制限するなどの緊急措置を実施した。</b>  受託制限	・混乱状態が続いた。 ・羽田の東京国際エアカーゴターミナル(TIACT)では、関空からの代替需要に加えて、通常は成田で実施している羽田発着貨物の積み付け・解体作業が増えるなど業務量が大幅に増加した。輸入貨物がさばききれず、9/27～9/30にかけては <b>無料保管期間を通常の2日間(到着日含め3日間)から5日間(同6日間)に延ばした。</b> 輸入貨物は9/30から受託停止に踏み切っており、10/1以降は <b>無料保管期間も</b>  受託停止 無料保管	・上屋の混乱状態が続いた。 ・輸出貨物を輸入貨物より優先する傾向にあったため、特に輸入貨物の解体が遅れた。			

	空港会社	航空会社	空港上層	フォワーダー	代替輸送	その他		空港会社	航空会社	空港上層	フォワーダー	代替輸送	その他
10月1日(月) ～10月10日 (水)	・9/30～10/1に台風24号が襲来したが、早い時点で滑走路封鎖等により、大きな被害は発生しなかった。		・10/3に医薬品専用共同定温庫「KIX-Medica」が貨物取り扱いを開始した。 ・日航は10/9までに薫蒸庫の修理が完了したほか、輸出入貨物の受け付け業務などを行う1階事務所部分も復旧した。 ・日航関西エアカーゴ・システム(JLKAS)は、10/9に薫蒸庫の修理が完了して全ての制限を解除した。				10月				・成田国際空港のフォワーダー上層では、10月第三週ごろまで混乱が続き、その頃をすぎると急に落ち着いた。渋滞もこの時期から急に落ち着いた。		
2021/10/11 (木)～10月20日 (土)	・10/11に空港内の旅客手荷物取り扱いシステム(バゲージ・ハンドリング・システム=BHS)の完全復旧を確認したと発表された。これにより、関空の旅客施設機能は完全回復し、本格運用に至った。			・5大フォワーダーいずれも10月に完全復旧を宣言した。	・【代替輸送】10/11に伊丹空港および神戸空港における国際線・国内線の代替受け入れを終了した。なお、9/14～9/17の伊丹空港での受け入れ実績は計20便、9/16～17の神戸空港での受け入れ実績は計2便だった。 ・【代替輸送】成田・中部等への持ち込みが常態化した状況から、元の流れに戻りはじめた。								
10月21日(日) ～10月31日 (水)			・10/31に全日空はこれまで受託を停止していた外航の貨物便搭載分の受託を一部再開した。 ・日航、全日空とも依然として被災前に受託していた濡損貨物が残っており、引き続き早期の引き取りを呼び掛けている。全日空は9/5から10/31までの濡損貨物の保管料金は特別措置として求めないが、11/1以降は通常の保管料金を適用するとした。										
11月～12月上旬			・12/2に全日空の貨物取扱いが全面的に復旧した。				11月～12月上旬						

(資料)成田国際空港が被災した場合の代替輸送連絡調整メカニズムの構築のための調査 第1回検討会資料より作成